

# CRC Essential Lectures 講義概要

## 第1回 (9月30日)

### 担当講師

竹内規彦 早稲田大学商学大学院 教授

### テーマ

人材の高齢化を組織行動論の視点から考える

### 講義概要

本講義では、職場や組織における高齢化の諸課題について、組織行動論（組織の中の人間行動に関する学問領域）の知見をもとに検討する。具体的には、働く人々の加齢に伴う種々のこころの変化を正確に理解するとともに、多様な年齢層からなるチームや組織におけるダイバーシティ・マネジメントのあり方を探る。また、個人の視点として、各受講生が人生100年時代における後期キャリアを前向きに捉えていく指針や心構えについて考えるきっかけとなれば幸いである。

## 第2回 (10月3日)

### 担当講師

立花一元 ICHIGEN CAREER BRIDGE 代表

### テーマ

企業風土の変革：企業内人材育成のパラダイムシフト

### 講義概要

社会や時代、国の政策、企業戦略など、昨今の大きな環境変化に対して、会社は？そして社員は？相互の信頼と成長に向けて、どのようにコミットしていけばよいのでしょうか？損害保険ジャパンでは、その解を「キャリア自律の実現」に置き、社員に「多様性」と「自律性」を促すことで、「社員と会社の持続的成長」の実現に向けた企業文化の変革に取り組んでいます。同社の人事部門で長年に渡って、中高年社員の自律的なキャリア開発を支援してきた立花一元氏とともに、以下のような同社の取組事例を参考に、これからあるべき「企業内人材育成のベクトル」について考えてみましょう。

- ・社員を人的資本としてとらえ、「経営戦略と人材戦略を連動」させた各種の取組み
- ・中高年社員を対象とした「セカンドキャリア支援プログラム」による自律的なキャリア形成支援の取組み など

### 第3回（11月21日）

#### 担当講師

入山章栄 早稲田大学商学大学院 教授

#### テーマ

世界の経営学からみるキャリアオーナーシップへの視座

#### 講義概要

コロナ危機を経て、日本企業にはさらなる変化・イノベーションが求められています。一方、イノベーションは、世界中の経営学者により科学的な手法で研究が進んでいるにも関わらず、その知見が日本まで十分に届いていません。本講義では、世界の経営学の知見を使いながら、日本企業のイノベーション創出への示唆と、キャリアオーナーシップについて考えていきます。

### 第4回（1月11日）

#### 担当講師

森岡正博 早稲田大学人間科学大学院 教授

#### テーマ

生まれてきて良かったとはどういうことか？

#### 講義概要

みなさんは「生まれてきて良かった」と思うことがあるだろうか。もしそのように思えることがあるとしたら、それは生きる意味のひとつの答えになるかもしれない。私はこれを「誕生肯定 birth affirmation」と呼んでいる。しかし実は、誕生肯定とはいったい何なのかをクリアーに示すのは簡単ではないのである。哲学の世界では、「反出生主義」という思想が注目を集めている。これは、人間がこの世に生まれてくるのは良くないことだから、我々は生まれてこないほうが良かったのだし、子どもを産むべきではないとする考え方である。誕生肯定というのは、この反出生主義と鋭く対立するものであると考えられる。本講義では、反出生主義の思想を解説し、そのうえで生まれてくることの肯定とは何を指すのについて考えてみたい。これは生と死の哲学と呼ばれるジャンルに属するものである。受講生の皆さんには、40～50代のタイミングで、生と死を哲学的な観点から見つめ直し、「この先をどう生きるか」について考える契機としてほしい。

### 第5回（2月13日）

#### 担当講師

古山周太郎 早稲田大学人間科学大学院 准教授

#### テーマ

コミュニティデザインの理論と実践 ～地域課題の事例から学ぶ～

#### 講義概要

現在、人口減少のため生活機能の維持が困難になっているコミュニティで、住民主体の組織化や、外部からのサポートのもとで、生活サービスを提供する事例が出てきている。なかには、コミュニティビジネスの形態をとり、サステナブルな実践を行う団体もある。さらに、情報インフラの活用で働き方が流動的になっており、地方と都市部の人材との連携により、新たな価値を生み出す活動もみられる。本講義では、全国の様々な事例を紹介しながら、今後のコミュニティを基盤とした活動の可能性を考えていきたい。

## 第6回（2月20日）

### 担当講師

村瀬俊朗 早稲田大学商学大学院 准教授

### テーマ

組織のダイバーシティと競争力

### 講義概要

本講義では、組織のダイバーシティがどのように企業の競争の源泉となるか、そしてダイバーシティの様々な課題について、企業におけるダイバーシティ推進の事例を介しながら紐解いていきます。ダイバーシティを社内に取り入れるには、多様な人の採用だけではなく、多様な人が活躍できる組織環境を整える必要があります。また、表面上の多様性によって引き起こされる無意識的な差別の問題や、多様な価値観や行動がから生まれる組織の問題にも熟知する必要があります。これらの課題を解消することで初めて多様性が競争力となりますので、本講義を通して、多様性を考え、個人の態度と行動を変えるきっかけを作る講義内容で構成される予定です。

## 第7回（3月5日）

### 担当講師

安達智子 早稲田大学教育・総合科学大学院 教授

### テーマ

思い込みをする心

### 講義概要

ヒトというものは、ステレオタイプやバイアスから自由ではられない。本講義のタイトルは、そんな人間らしさそのままに「思い込みをする心」とした。今、この思い込みが注目されて、各処でさかんにアンコンシャス・バイアス研修が行われている。何故ならば、思い込みによって他者を傷つけたり、集団の雰囲気をつぶすことがあるからだ。一方、思い込みが個人の心や行動にもたらす負の作用についてはあまり注目されてこなかった。本講義は、性別にまつわる思い込みの心理について解説する。男/女という性別にまつわる思い込みについて考えることで、受講生の皆さんのキャリアに新たな視点がかわるような時間にしたい。